

# 2024年福井県フードバンク活動交流会報告

## ～福井県フードバンク連絡会と子ども食堂との交流会～

【日 時】 2024年12月10日(火)10時00分～12時30分

【会 場】 福井県民生協 本部センター3F ホール

【参 加】 50人 (連絡会事業者11団体14人、子ども食堂18団体32人、福井県3人、福井県社協1人)

【主 催】 福井県フードバンク連絡会・子ども食堂ネットワークふくい

### 【開催目的】

フードバンク食品提供事業者と子ども食堂運営者との顔の見える関係づくりを促進し、フードバンク活動を通してネットワークを広げ、食品ロス削減と地域福祉へのお役立ちを通じてSDGs社会の実現をめざします。

【テーマ】 食を通じた見守り活動のあり方について

### 【内 容】

#### <開会あいさつ>

連絡会代表 松宮幹雄氏(福井県民生協理事長)



物価高騰のなか普段の食事に困る家庭も増えている。今年は助成金も活用して臨時の食料支援にも取り組んだ。引き続きフードバンク活動を通じて支援に取り組みたいとご挨拶しました。

#### <報告①>「フードドライブの取り組みについて」

報告:秋元武氏(バローホールディングスサステナビリティ推進室室長)



岐阜県を拠点としながら東海・北陸で店舗でのフードドライブ活動(12府県200店舗でフードドライブポストを設置)と地域自治体や団体と連携した取り組みを紹介いただきました。今後の福井県の取り組みの参考になりました。

## <報告②>「子ども食堂を通した地域とのつながりについて」

報告:子ども食堂まる 飯田千尋氏・高島克枝氏・渡邊一幸氏(あわら敬愛子ども園)



あわら市で子ども園を展開しながら、地域の企業やボランティア、自治体とつながり、不登校の子どもやひとり親家庭への支援を子ども食堂を通して展開している取り組みをご紹介します。他の子ども食堂の皆さんの参考になりました。

## <報告③>「宅食を通した見守り支援の有効性について」

報告:福井県健康福祉部児童家庭課 家庭支援グループ 主事 高村日菜氏



現在福井県内4市2町で行われている「宅食」事業と、5市2町で実施の「見守り支援活動」の紹介をしながら、宅食を活用して見守り支援を全県で展開することの有効性について説明をされました。今後子ども食堂や市町を対象とした研修会や交流会を考えていることなどをご紹介します。

報告に対して、参加者から積極的な質問が行われ、報告者からそれぞれ回答がされ、理解が深まりました。



## <グループ交流・発表>

6グループに分かれて、3つの報告を聞いての感想やこども食堂と連絡会企業・団体との情報交流を進めました。



### 《報告を受けての感想など》

- ・こども食堂も行政、地域とのつながりが必要。
- ・こども食堂に来れる子は良いが、SOSをあげれない子にどうアプローチするかが課題。
- ・不登校の子ども達の情報が無い。情報をいただければ、こども食堂としても訪問などできる。市町・学校関係者を含めた交流会をして欲しい。
- ・見守り支援は民生委員や社協に声かけすると良い。
- ・県内にこども食堂は64団体あるが、ネットワークへの加盟は45団体で、まだ入っていない団体も加盟すると色々な情報が届く。
- ・バローさんのフードドライブポストが良いので参考にしたい。

### 《こども食堂に対する意見や質問》

- ・食堂の献立はどうやって決めるのか。アレルギーへの対応はどうしているか。
- ・ひとり親家庭や生活困窮家庭の参加は増えているか。(こども食堂に定義はなく、地域の居場所として誰でも来て良い。対象を絞っている食堂もある。)
- ・災害時の使い捨て容器や日用品も提供してよいか。(日用品や文具等もありがたい)

### 《連絡会加盟団体への期待や要望》

- ・連絡会から色々なものをいただき感謝している。
- ・寄付を受けた場合どんな形でフィードバックすると良いか。(お礼のお手紙や許可を得た方の写真が励みになる)
- ・フードドライブ活動をさらに広げていくこと。
- ・賞味期限の近い食品や在庫が大量に発生した食品を提供してもらえるとありがたい。

## <閉会あいさつ>

こども食堂ネットワークふくい 共同代表 南康人氏



支援してくれる事業者があつてこそ運営できると日頃の感謝と出席者へのお礼を述べられました。



終了後助成金を活用して、こども達へのクリスマス菓子ブーツ1,000個やフードバンク商品を23団体に提供しました。

※今年の交流会は北陸労働金庫様の「ろうきん子どもの明日を応援プロジェクト助成金」で開催しました。